

神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490

FAX (078) 361-4539

http://nssk-kobeshoten.org/ 振替口座 01110-2-10517

2017年3月 大齋節

「大齋節を迎えて」

～わたしは既に世に勝っている～

神戸教区神学生 バルナバ 野間 光頭

私がまだ幼かった頃、冷蔵庫の前に少し変わった一枚の封筒が貼り出されたのを覚えている。普通の封筒と違って、封筒の上部には、貯金箱のようなスリットが入っていた。毎日少しずつお金が入られる事で膨らみを増していき、それは教会でカラフルな卵が配られるお祭りの日まで続いた。

何より印象的であったのが、封筒の中央に十字架を背負って苦しむ主イエスの姿が描かれていた事だ。気になった私は、母にその封筒の意味を尋ねてみた。

光 「お母さん、この封筒は何なの？」

母 「これはね、『大齋克己献金』っていうのよ。」

光 「たいさい…？ こっき？ どういうこと？」

母 「もうすぐイエス様がよみがえられた事をお祝いするイースターがあるでしょう。でもその前にイエス様は、とても大きな苦しみを担われたのよ。私たちもその事を覚えながらイースターまでの間を過ごすのよ。この期間を『大齋節』って



呼んでいて、私たちのためにイエス様が痛みを担われた事を感じながら、毎日少しずつ献金をするのが『克己献金』なのよ。」

光 「ふーん、そうか…。じゃあ、僕もお小遣いからお金を入れていいかな？」

母 「ええ、いいわよ!!」

そんなやり取りの後、封筒のスリットに 10 円玉を入れると、チャリンという音と共に、一瞬十字架を背負うイエスと目が合ったような気がした…。

…あれから約 40 年が過ぎ、世界や社会の情勢も大きく変化しました。毎日のニュースでは、世界中に蔓延する経済至上主義や利己的・自

己中心的な考えから生じる様々な混乱が報じられています。

これまでの歩みを覆すかのように大きく揺れ動く欧米、飢餓や貧困の深刻さが増すアフリカやアジア、そして紛争・テロ等の被害に歯止めが掛からない中東の情勢など、昨今の社会情勢や諸外国の歴史を見ていると、世界は先の大戦後 70 年を経てまた激動期に入ったと言わざるを得ないような状況を迎えています。

この世界に生まれ、同じ命を持ち、共に暮らす私たちであるはずなのに、文化や背景の違いを受け止められなかったり、意見の違う相手を貶めたり、必要以上に富や権力を独占したり…。

しかし、そんな恐ろしい闇の力が世界中を覆い尽くそうとしているこの時に、私たちはイースター、それに連なる大齋節を迎えました。今、改めて子供の頃に聞いた大齋節のメッセージが心に強く想起されます。このような世界、このような時代だからこそ、私たちの抱える弱さや恥、罪の象徴である十字架を担われたイエスの姿、そこに込められている意味を覚えながら歩みを進めていきたいと思えます。

「これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇氣を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。」

(ヨハネによる福音書 16 章 33 節)

定例集会

日 午前 7 時 早朝聖餐式
" 9 時 15 分 教会学校
" 10 時 30 分 聖餐式・説教
午後 6 時 夕の礼拝

火 午前 10 時 30 分 聖書研究会
土 午前 10 時 30 分 教会掃除
(ご奉仕をお願いします)